

令和3年度幸福について考えるワークショップの開催結果

1 目的

いわて県民計画（2019～2028）は、県民の幸福を守り育てることを基本目標としていることから、いわて県民計画の推進に向け、県民に「幸福」について考える機会を提供するとともに、ワークショップを通じて県民の幸福感に関する意識を把握し、政策評価等に活用することを目的とする。

2 対象とした分野別実感

- ① 地域社会とのつながり
- ② 必要な収入や所得

3 ワークショップの開催状況

現在までのワークショップ開催状況は以下のとおりであり、第4回までの意見等については別紙のとおり取りまとめた。

○ワークショップの開催状況

	開催日	開催地域	参集者数
第1回	6月19日	県南	6名（女性6名）
第2回	6月19日	県南	10名（男性10名）
第3回	6月24日	県北	8名（男性6名、女性2名）
第4回	6月28日	県央	29名（男性20名、女性9名）
第5回	7月10日	県南	9名（男性3名、女性6名）
第6回	7月28日	県北	11名（男性5名、女性6名）
第7回	7月31日	沿岸	10名（男性6名、女性4名）

○ワークショップにおいて出された意見等

①地域社会とのつながり			
	低下したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分ができること	
	新型コロナウイルス感染症関係		
第1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事中心の生活でもともと地域とのつながりはなく、普段と変わらない。(20代・女性) ・ 普段から関わりが少ないため自分自身の低下はない。(30代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、地域でのイベントがなくなり楽しみが減った。(20代・女性) ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、職場の交流もなくなった。(30代・女性) ・ 近所の高齢者との交流が少なくなった。コロナの影響で料理をおすそ分けしようにも感染を気にしてしまう。(40代・女性) ・ 老人会など外出の機会が減り、体力の低下が見えてきた。(30代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠くに外出ができなくなった分、県民割を使って県内に行く機会が増えたが、県内を知る機会となっていていい。(30代・女性) ・ 葬儀が重なって親類と会う機会が増え、身内とのコミュニケーションを深めるようにする。(30代・女性)
第2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事（畜産）の関係でのつながりはあるが、仕事以外だとながりはない。(20代・男性) ・ 地域の草刈りなどに個人として参加することが多いためつながりはある。(30代・男性) ・ 趣味などの仲間のつながりがあるため低下したとは感じない。(40代・男性) ・ もともと仕事と家の往復のためつながりはない。(30代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、地域でのイベントがなくなり楽しみが減った。(20代・男性) ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、消防団はイベントが中止になり集まる機会が減ったが、むしろ丁度よく感じている。(40代・男性) ・ 地域のつながりが多すぎて、減らしたいくらいだったので丁度よい。(30代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自粛になっていると丁度いいことがあるため、地域行事などの見直しが必要。(40代・男性) ・ 地域行事がないことで家にいる時間が増えるため家族と過ごす時間を大事にする。(30代・男性) ・ 友達や職場の人を誘ったりして、少人数のコミュニケーションを大事にする。(30代・男性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分 ができること	
	新型コロナウイルス感染症関係		
第3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の中止や縮小が続いている。(60代・男性) ・ 高齢者向けの健康教室を休止している。(60代・女性) ・ 姑が地域のお友達と会わなくなった。(40代・女性) ・ 時間の使い方が変わった(動画を見たり、ソロキャンプなど一人で遊ぶ)。(20代・男性) ・ 子どもが大きくなり、参加する行事が減った。(40代・女性) ・ 地域住民の年齢構成が上がった。(50代・男性) ・ 普段から関わりが少ないから、あまり変わらない感じがする。(30代・男性) ・ 地域行事には親が参加していて、代理で出にくい。(20代:男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無意識に人混みを避けるようになった。(60代・女性) ・ 気軽に近所を訪問したり、道であっても立ち話をしなくなった。(60代・男性) ・ 独り言が増えた(気がする)。(60代・女性) ・ 姑の楽しみが減り、少し元気がなくなった様子。(40代・女性) ・ 仕事が終わるとまっすぐに帰宅するようになった。(50代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役場が正しい情報(具体的に気をつける事項等)を出してほしい。(60代・男性) ・ 家族との時間を大切にする。(40代・女性) ・ LINEなどを活用できるように地域でも考えていく機会。(50代・男性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分ができること	
	新型コロナウイルス感染症関係		
第4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値観の違い。必要なしという感覚の人が多いのではないか。(70代・男性) ・ 家庭内の世代交代ができていないので、次の世代の参加がない。(60代・男性) ・ 児童センターの行事への参加も減っている。考え方の相違があると思う。(60代・女性) ・ 子育て世代は仕事で手一杯。ご近所付き合いはいいが、広いコミュニティへの参加は時間的に厳しい。(40代・女性) ・ 経済状況や生活の状況など自分の家庭をまず優先したい。(70代・男性) ・ 地縁組織特有の閉鎖性があるのではないか。(60代・男性) ・ 子どもがいれば、PTAなど何かしら繋がりをもてる。以前より、付き合いにも距離を置くような風潮になったのではないか。(50代・男性) ・ 集合住宅が増えてきた。地域と関わるきっかけがないのではないか。(60代・女性) ・ 特に減少した印象はない。昔より、自由に発言できている。(60代・女性) ・ 転居して日が浅いが、町内会もPTAもよく声をかけてもらっている(30代・女性) ・ スマホ世代、対面での付き合いが苦手な人も増えたように思う。(50代・女性) ・ 地域の繋がりには自分次第。参加する気持ちがあるかないかではないか。(70代・男性) ・ 声をかけてまで人を呼ぼうという気持ちが持てない世の中になった。(40代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ感染の確認が出てから、地域行事に参加する不安が大きくなっている。(60代・女性) ・ 感染症対策を徹底し、定例会は継続している。個人判断で参加を控える人はいるが、休止するよりもどうしたら活動継続を出来るのかを考えている。(60代・男性) ・ 活動前の除菌作業などが増えた。(60代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策をしっかりとった行事であることを広報する。(40代・女性) ・ 自分がしてもらったように、声をかけていきたい。(60代・女性) ・ 活動や行事に当日参加する人にも役割を。(60代・男性) ・ 若い世代に情報が届くよう SNS の活用を進める。(50代・男性) ・ 活動への参加が固定化しないような運営の仕組みづくりに取り組む。(60代・男性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分ができること
	新型コロナウイルス感染症関係	
第5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づきあいは、コロナ前から来ない人は来ない。コロナになってからは、集まる機会が少なくなった。(70代・女性) ・ お茶飲みもしない時代になった。(70代・男性) ・ 新しい家が建ち、人が住んでも、紹介(仲介)してくれる人がいないために関係性は薄い。地域の運動会など行事があれば、そこで紹介されたりしたが、今は、行事も少ないために紹介されることもない。(70代・女性) ・ 地域が縦割りになっている。(40代・女性) ・ 外にいて登下校の子どもに声をかける(あいさつ)が、学校では、知らない人には挨拶しないように指導されているため、地域の頑張りがあっても無駄。(40代・女性) ・ 総会等含め、地域の集まりは減少している(唯一あるのは草刈り作業)。総会等でしか会わないような人とは本当に会わなくなってしまった。(60代・女性) ・ 隣近所の人としか交流がなくなった(60代・男性) ・ サロンは一時休止したが、再開。ただし出て来ない人は増えた。(60代・女性) ・ 子ども会行事や学校行事も中止が増え、子どもと地域のつながりが持ちにくくなった。(10代・女性) ・ お互いに顔が分からない状態になっている(30代・男性) ・ 学校と地域の関わり(地域の人が学校に関わる機会)も薄くなってしまった。(10代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも縮小していた地元のお祭りが、コロナを機になくなった。(60代・女性) <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に声をかけるようにする。(40代・女性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分 ができること	
		新型コロナウイルス感染症関係	
第6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事の中止や縮小が続いている。(40代・男性) ・ そもそも人口減。独身者が増え、少子化で人との繋がり機会が減っている。(60代・女性) ・ 若い人同士のつながり機会が少なく、地域に出てこない。(70代・女性) ・ 家庭に仕事に忙しい人が多いのかもしれない。(60代・女性) ・ 必要だと思うが、正直面倒・煩わしいときが多い。(20代・男性) ・ 昨年出産したが、子育て期間中は人に会う機会が減った。同年代が少ない。(30代・女性) ・ SNSで広く繋がれるので、困らない(30代：男性) ・ サロン活動の中止、高齢による移動困難等が理由ではないか。(40代：女性) ・ 引越し先は普段から関わりが少ないから、あまり変わらない感じがする。(30代・女性) ・ 必要最低限の地域のつながりってなんだろう？減っても困っていない。(40代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が少なく、密になる機会は少ないと思う。(30代・男性) ・ 生活支援での訪問がしにくくなった。(40代・女性) ・ 見守り活動で訪問しても、玄関越しでの対応で、対面しない人もいる。(60代・女性) ・ 何でもかんでも行事をやめるのはどうかと思うが・・・。(40代・男性) ・ 仕事が終わるとまっすぐに帰宅するようになった。(30代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のように話し合った事、意見がきちんと役場に届く仕組みがほしい。(20代・男性) ・ 自分のグラフを見て、「健康」に気をつけようと思った。(70代・女性) ・ 実感も重視度も変わらない。この幸せを維持するように穏やかに生きたい。(70代・男性) ・ 行動するというよりも、今後の状況によって左右されると感じる。(60代・女性) ・ 働き方を変えなければ、なかなか関係性を持つのが難しい。(30代・男性) ・ 未来を見据えた地域共助の仕組みづくり、やはり話し合う場がほしい。(30代・女性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	新型コロナウイルス感染症関係	考えられる解決策・自分ができること
	第7回目		<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京にいた頃より、集まりやイベントへの参加率は増えた。(40代・男性) ・ 都会とは180度文化が違う。町内会、草むしりなどはなかったし、隣近所との付き合いの多さや深さも違う。(20代・男性) ・ 10代で移住してきて、そういう付き合いがあまりないので実感がない。(20代・男性) ・ 同年代の繋がりや出会いの場が少ない(30代・男性)

②必要な収入や所得

	上昇したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分 ができること	
	新型コロナウイルス感染症関係		
第1回目	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ大統領が変わったため株価が上昇し、儲けた。(20代・女性) コロナ関係ではないが、残業代が増えたため業務内容によって差はある。(20代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用調整助成金の活用で給料に変化はないが、2か月の休業があったほか、休みが1日増えた。(20代・女性) 給料が増えてはいない。むしろ1割カットされた。(30代・女性) 10万円給付を収入と考えることはできるが、大きな影響はなく、給料の変化もない。(30代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ではどうしようもない(全員)
第2回目	<ul style="list-style-type: none"> コロナ関連の業種でもないが、会社の業績が上がり給料が増えた。(30代・男性) コロナ関係なく、変化なし。(全員) 	<ul style="list-style-type: none"> 影響なし。コロナ前と変わらない。(全員) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ではどうしようもない(全員)
第3回目	<ul style="list-style-type: none"> 向上した実感はないが・・・。(20代・男性) (世の中全体のイメージとして)残業代を払うようになったのではないか。(50代・男性) 	<ul style="list-style-type: none"> 製品出荷量が減り、勤務シフトが減ったが、給料据え置きだった。しかし、3月末で希望退職をした。(40代・女性) 農協出荷なので、農産物収入への影響は少ないが、交流イベントなどができず、少し減収である。(60代：男性) 収入が減り、節約生活をしている。収支バランスの変化はあまりない。(60代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> 複業に挑戦する。(30代：男性)

	上昇したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分 ができること
	新型コロナウイルス感染症関係	
第4回目	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂や困窮支援等が増えている中、収入や所得に満足している人が増えたのは不思議。(60代・男性) 価値観がお金以外に感じている人が増えていると思う。(40代・女性) ポイント制や電子決済の普及により、お買い得感があったり、上手に活用する人が増えていると思われる。満足感があるのではないか。(60代・男性) 人により「必要な」の定義が違う。足るを知れば、満足できている。(60代・男性) 株取引をしている人は所得が増えたと聞いている。(50代・女性) メディアが節約を促しているようにも感じる。(70代・男性) ローン終了、子ども独立など一時的な要因で支出が減ったのではないか。(60代・男性) 沿岸地域での建設業や道路など、一部の産業では賃金UPがあったかもしれない。(50代・男性) コロナ禍、会社の経費が下がり、社員に分配した。(40代・男性) 収入は変わっていない。むしろ、子どもにかかる支出が増えている。(30代・女性) 	<ul style="list-style-type: none"> 他力本願ばかりではなく、自助努力も大切だと考える。(50代・男性) コロナ収束後にどうなるのだろう…。(60代・女性) 資産運用について学ぶ機会があればいい。(40代・女性) 外出機会が減り、支出が減った。(60代・男性) 給付金があったので、家庭としての収入がUP。(60代・男性) コロナが生活を変えた。最初はつまらないと思われた「消費しない環境」に順応し、その中で楽しみを見つけた。(60代・男性) 自粛生活、休校で子どもが在宅する機会が増えて食費が嵩んでいる。(50代・女性) 飲みにでかけなくなった。外出飲食する罪悪感もあり。(70代・男性)

	上昇したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	考えられる解決策・自分 ができること	
	新型コロナウイルス感染症関係		
第5回目	<ul style="list-style-type: none"> 外出制限がかかったため支出が減った。（お金の使いどころが減った）しかし、おいしいものを食べるなど、自宅での消費があり、必ずしも支出が減ったからというところでもない。（70代・女性） 在宅勤務などテレワークの導入もあり、家電業界は需要があったはず。（40代・女性） プレミアム商品券を購入したが、商品券の対象店舗は収入につながったのではないか。（70代・女性） 収入が向上した実感はない。（70代・男性） サラリーマンの場合、給料は変わらないが、仕事量は減っている。（30代・男性） 個人事業主で、かつ、イベント等に出店して収入を得ていたため、イベントの中止が相次いでいることで収入は激減している。ただし、首都圏からの客をあてにするタイプのイベント等に依存しない収入源を模索し始め、生活を変えた（地元をターゲットにしていく）。（60代・男性） 学生の場合、親戚と会わなくなったことで、お年玉などの収入源は減ったが、友達と遊ぶ機会も減ったため、支出が減り、お金はたまっている。（10代・女性） そもそも無職で、民泊の受入れが臨時収入のようなものだったので、教育旅行の受入れがなくなったことで、収入は減少。ただし、支出も少ないので、結果的に特に生活に変わりはない。（60代・女性） 	<ul style="list-style-type: none"> 影響なし。コロナ前と変わらない（全員） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ではどうしようもない（全員）

	上昇したと考えられる具体的なイメージ（基準年（H31）との比較）	新型コロナウイルス感染症関係	考えられる解決策・自分ができること
第6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・（個人的に）作付け面積を増やしたので増えている。（20代・男性） ・ 給付金があったから一時的に増えた気がする。（7人家族）（20代・男性） ・ オンライン等ITを活用した働き方などが増えたことが原因ではないか。（40代・男性） ・ 外出機会が減ったので、収入は増えずとも支出が減った。（40代：女性） ・ 漁業が不振で必要な収入を得ているとは感じられない。若い世代は欲のない人が増えているのではないか。（40代・男性） ・ 外出機会は減少したが、ネット通販等を使うので、個人的に余計な買い物が増えた。（30代・女性） ・ 何かしら収入を得るために投資している。（40代・男性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次産業が多い地域なので、影響は少ない。（40代・男性） ・ リストラされた人が周りにいる。（30代・女性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税が増えているので、それらを原資にした施策・事業を考えたい。（30代・男性） ・ 新規就農/就漁・事業継承などを視野に入れた移住者もいる。地域でフォローできる仕組みが大事だし、自分の気遣いを持って関わりたい。（40代・男性） ・ 今住んでいる若者の流出を防ぐ手立てがほしい。（70代・男性） ・ 収入が上がっても税金等が増えるのは困る。何かしらの対策はやはり行政がしてほしい。（20代・男性） ・ 第一次産業以外に地域で働く場が必要ではないか。（70代・男性） ・ 最低賃金が上がることに期待する。（40 普代・男性） ・ 一人ひとりが自分のスキルアップや資格取得等に取り組む。（30代・女性）
第7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実感はない。（全員） ・ 都会から移住しているため、収入自体は減っている。（20代・男性、40代・男性、50代・女性） ・ 引越し等で支出が増えた。（40代・男性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナで相対的に下がったのではないか。（30代・男性） ・ 体験型事業の参加者が減った。（40代・男性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナで支出・外出が減っているので、そこまで不便を感じていない。（20代・男性） ・ 身の丈にあった生活を心がける。（30代・女性）